

田方地区で入隊・入校予定者激励会を開催



記念品贈呈



決意表明

自衛隊静岡地方協力本部三島募集案内所（所長・林正士一等陸尉）は3月11日（火）、韮山文化センター（伊豆の国市）で行われた令和6年度田方地区合同自衛隊入隊・入校予定者激励会を支援した。

今年度は伊豆市と同市自衛隊協力会の主導で開催され、伊豆市、伊豆の国市、函南町から入隊・入校予定の11人のうち7人が参加した。

激励会は2部構成で行われ、第1部では伊豆市長や来賓が入隊・入校予定者に祝辞と激励の言葉を送り、各協力団体が記念品を手渡した。温かな言葉と記念品を受け取った予定者たちは一人ずつ決意表明を行い、「将来は海上自衛官として貢献したい」「レンジャー資格を取って、水陸機動団に行きたい」と、緊張した面持ちながらしっかりと固い意志を表明していた。

第2部は、佐藤正久参議院議員が記念講演を行い、元自衛官という視点から現在の外交や防衛の状況、自衛隊について語った。また、陸自第34普通科連隊（御殿場市）第5中隊らっぱ隊がらっぱ吹奏で予定者の前途を祝した。

三島所は、引き続き自治体や各協力団体等と協力し、次年度も入隊・入校予定者が自信を持って自衛隊の一員となれるようサポートしていく。

富士山樹空の森で陸自と静岡地本が自衛隊の活動をPR



展示用ヘリコプター



自衛隊キャラクター紹介

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久一等陸佐）は3月23日（日）、富士山樹空の森まつりで広報活動を行った。第5回富士山樹空の森まつりで広報活動を行った。当日は晴天に恵まれ、6550人の来場者で賑わった。静岡地本は広報ブースを開設し、自衛隊の活動や職種の紹介、子ども用制服の試着体験、ブルーインパルスや戦車のVR体験などを行った。特に子どもたちがミニ制服を着て展示用ヘリコプターで写真を撮る体験は、待機列が途切れないほど人気を集めた。

また、同施設周辺に所在する陸上自衛隊の部隊もさまざまな催しで来場者と交流した。機甲教導連隊（駒門駐屯地）が16式機動戦闘車を展示し、普通科教導連隊（滝ヶ原駐屯地）が陸自の救急車展示や救急法体験、第34普通科連隊（板妻駐屯地）が高機動車体験試乗、炊事車で調理した豚汁の無料配布、格闘展示などを行った。

会場のステージでは、富士学校音楽隊（富士学校）と第34普通科連隊らっぱ隊が音楽で観客を盛り上げ、各駐屯地のキャラクターや静岡地本の「しずぼん」などが登場する自衛隊キャラクター紹介では、それぞれが部隊の任務や自衛隊とふれあえるイベントなどを紹介してPRした。

静岡地本は、今後も部隊とともにイベントに参加し、自衛隊の活動への理解促進を図っていく。